

2017年度事業報告書

(2017年4月1日から2018年3月31日まで)

公益社団法人 企業市民協議会

1. 事業活動の概況

(1) 国際貢献事業に関する参加協力（定款第4条第1項第1号関係）

① プロジェクト選考委員会の開催（2017年12月8日）

理事会より諮問のあった国際貢献事業候補案件を審査し、新たに「日本インドネシア国交樹立60周年記念事業」、「2018年第2回ABAC会議日本開催」の2件をCBCC国際貢献事業として選定した。

② 認定プロジェクトの推進状況

上記プロジェクトおよび1989～2016年度に認定した国際貢献事業計148件のうち、以下10件に対する企業からの寄附金を送金した。

- ・カンボジアにおける孤児院建設プロジェクト
- ・コロンビア大学ビジネススクール日本経済経営研究所「世界的視野から見る日本の経済と金融システム」
- ・パリ日本文化会館における国際文化交流および日本語普及事業支援プロジェクト
- ・中国大学生の訪日視察事業
- ・パリ・アメリカン・ホスピタル（AHP）「2020年に向けた戦略プラン」実現のための募金
- ・さくら女子中学校プロジェクト
- ・日米協会100周年記念基金プロジェクト
- ・ラオ・フレンズ小児病院における医療教育事業
- ・カンボジアにおける教育支援
- ・日本・チリ修好120周年記念事業

(2) 海外事業活動に関する諸問題や企業市民活動に関する情報の収集提供（定款第4条第1項第2号関係）

海外事業活動関連問題の周知および企業市民活動に関する情報の収集提供を図るため、以下の機関誌等を会員および内外の関係者に配付した。また、1998年度より開設しているCBCCウェブサイト（日英両文）上にてCBCCの活動を紹介している。

① 機関誌「Stakeholders（ステークホルダーズ）／CBCCニュース」第87号（2018年3月発行）

特集：訪独CSR対話ミッションを派遣

② CSR 情報誌「CSR ニュース」(第 141~145 号)

CBCC が主催した会合等の概要記事や、米国の企業会員組織 "Business for Social Responsibility (BSR)" のニュースレター "BSR Insight" からの抜粋記事、インターネット上で CSR レポートのディレクター・サービスを提供する CorporateRegister.com 社の "ReportAlert" において配信された主要企業の CSR レポートに関するプレスリリースの翻訳版を掲載した情報誌「CSR ニュース」を制作、配信した。

(3) 海外事業活動に関する諸問題や企業市民活動に関するシンポジウム、セミナー、懇談会等の開催 (定款第 4 条第 1 項第 3 号関係)

① シンポジウム、セミナー、懇談会の開催

開催日	会 合 名	上段：講師・来賓、下段：テーマ
4 月 14 日	持続可能な開発目標(SDGs)達成に向けた企業とアカデミアとの連携に関する懇談会	蟹江 憲史 慶應義塾大学大学院 政策・メディア研究科教授 アカデミアと企業との連携の可能性や企業への期待
4 月 21 日	CBCC/BSR セミナー — 新政権下の米国におけるサステナビリティのトレンド —	ダンスタン・アリソン・ホープ BSR マネージング・ディレクター トランプ政権下の米国における、サステナビリティをめぐる動向
5 月 22 日	ティモシー・モーヒン GRI 事務局長との懇談会	ティモシー・モーヒン GRI 事務局長 「GRI スタンドアード」の概要や意義、活用の際の留意点
6 月 7 日	国連食糧農業機関 (FAO) パートナリシップ担当ヘッドとの少人数懇談会	ロドリゴ・カスタニエダ FAO パートナリシップ主任 FAO とのパートナーシップとの可能性
6 月 20 日	CBCC シンポジウム 「わが国の CSR の実態と今後の課題」	<パネリスト> 立石文雄 オムロン会長、永井朝子 BSR 日本ディレクター、黒田かをり CSO ネットワーク事務局長・理事、鷹羽美奈子 MSCI ESG Research シニアアナリスト、スコット・デイヴィス 立教大学経営学部教授 「CSR 実態調査」結果報告/わが国の CSR の実態と今後の課題

7月3日	フィリップ・ベグリオ WBCSD マネージング・ディレクターとの懇談会 (経団連との共催)	フィリップ・ベグリオ WBCSD マネージングディレクター
		「持続可能な開発目標 CEO ガイド」 の概要とそのねらい
10月3日	欧州およびドイツにおける ESG 投資 をめぐる動向に関する懇談会	佐久間 京子 メツラー・アセッ ト・マネジメント シニアアドバイザー
		欧州およびドイツにおける ESG 投資 をめぐる最新動向
10月23日	フィオナ・レイノルズ国連責任投資 原則 (UN PRI) CEO との懇談会	フィオナ・レイノルズ国連責任投資 原則 (UN PRI) CEO
		ESG 投資をめぐる現状と UN PRI の 取り組み
11月6日	第2回日欧 CSR ビジネスダイアログ (企業活力研究所、在欧日経ビジネス 協議会、CSR ヨーロッパとの共催)	クリスティン・シュライバー 欧州委員会域内市場・産業・企業・ 中小企業総局 H 局長 松本 加代 経済産業省経済産業政策局企業会 計室長 等
		SDGs 達成に向けた日欧企業の協働 の可能性
11月30日	日中 CSR 円卓会議 (於：北京)	来賓なし
		持続可能な開発目標 (SDGs) に関 する日本・中国の取り組み/日本・ 中国の CSR トレンドの紹介
12月12日	訪独 CSR 対話ミッション等報告会	ミッション、日中 CSR 円卓会議、国 連ビジネスと人権フォーラムの様様
2月26日	CBCC/BSR セミナー ーサステナビリティ戦略・マネジメ ントをめぐる最新動向ー	ダンスタン・アリソン・ホープ BSR マネージング・ディレクター
		BSR 報告書「持続可能なビジネスの 再定義」の概要ならびにサステナビ リティ戦略などの最新動向
3月5日	東南アジアにおける外国人労働者の 人権に関する懇談会	アンディ・ホール 人権対応専門家
		外国人労働者の人権をめぐる課題と 企業への期待～タイでのケースから ～

② 会員交流会の開催

4月14日、4月21日、5月22日、10月3日の各日に開催した懇談会（上記①参照）に続いて、出席者有志による会員交流会を開催し、各社の取り組み事例や悩み、課題などを共有するとともに、率直な意見交換を行った。なお、5月22日の交流会には、非会員企業からの参加も得た。

③ CBCC 企画部会の開催

i) 2017年5月29日

「CSR 実態調査」結果の分析および今後の活用方策につき意見交換

ii) 2018年2月22日

2017年度の活動状況のレビュー、2018年度の活動方針および具体的な活動計画につき検討

(4) 海外事業活動に関する諸問題や企業市民活動に関する調査研究 (定款第4条第1項第4号関係)

① CBCC 訪独 CSR 対話ミッションの派遣

(11月19日～26日、於 フランクフルト、ベルリン、ミュンヘン)

CBCC として初めてドイツを訪問し、政府機関や現地団体・企業、NGO、ESG 評価機関等との対話を通じて、ドイツの各主体の CSR や SDGs、ビジネスと人権、ESG への取り組み状況などへの理解を深めた。あわせて、日本企業の CSR や SDGs 等への取り組み、CBCC および経団連が推進する Society 5.0 の実現を通じた SDGs の達成および企業行動憲章等について説明し、理解促進に努めた。

<主な訪問・懇談先>

- ・フランクフルト：ドイツ取引所、メッツラー・アセット・マネジメント(MAM)、ヴェルナー&メルツ
- ・ベルリン：ドイツ産業連盟(BDI)、Econsense (BDIが設立したCSR推進団体)、ドイツ人権研究所、連邦労働・社会省、駐ドイツ日本大使館、German Council for Sustainable Development (RNE)、GIZ (ドイツ国際協力公社)
- ・ミュンヘン：イーコム・リサーチ、ミュンヘン再保険、シーメンス

また、ミッション派遣に先立ち結団式(11月13日)を開催し、在日ドイツ連邦共和国大使館のシュテファン・メープス経済科学部長・公使と、在日ドイツ商工会議所のマークウス・シュールマン専務理事より、ドイツの経済社会情勢および日独関係について説明を受けたほか、経団連産業技術本部から、Society 5.0 について説明を聞いた。

② 「CSR 実態調査」結果のとりまとめ・公表

わが国における CSR の実態を把握するため、2017 年 1 月から 2 月にかけて実施した CSR 実態調査の結果をとりまとめた。回答企業数は 167 社（CBCC 会員 54 社、非会員 113 社／製造業 95 社、非製造業 72 社）であった。調査結果は日本語および英語でそれぞれ冊子にして CBCC や経団連の関連会合・ミッション時の会合等で配布したほか、CBCC ウェブサイトにも掲載している。

(5) 海外事業活動に関する諸問題や企業市民活動に関する内外関係機関等との交流（定款第 4 条第 1 項第 6 号関係）

① BSR との協力

米国の企業会員組織 Business for Social Responsibility (BSR) とアグリーメントを締結し、セミナーの開催等に関し協力を得ているほか、ニュースレター (BSR Insight) 等を通じて CSR に関する情報提供を受けている。

② WTO 経済導刊との協力

2008 年より毎年、WTO 経済導刊が主催する「Golden Bee 国際 CSR フォーラム」を後援するとともに、スピーカーを派遣している。

2017 年度は、WTO 経済導刊と CBCSD（持続可能な発展のための中国経済人会議）が共催した「中国 CSR 国際シンポジウム」（12 月 1 日、於 北京）にも参加し、CBCC および経団連の取り組みについて講演した。

※WTO 経済導刊

2002 年に創設された中国商務部が主幹する月刊経済紙。2001 年の WTO 加盟後、中国国内で WTO の規制やルールに対する関心が高まったことを受けて、世界経済が中国経済へ与える影響や世界経済の動向などを国内で広めることを目的としている。

③ CSR Asia との協力

香港に本部を置く CSR Asia との間で、相互に情報提供等を行っている。

2. 総会・理事会

(1) 総 会

第 10 回総会（2017 年度定時総会）（2017 年 6 月 20 日）

二宮会長が議長となり、会員 65 名の出席（委任状出席を含む）を得て開催され、以下議案について、いずれも満場一致で可決・承認された。

第 1 号議案： 2016 年度事業報告案および財務諸表案の承認を求める件

第 2 号議案： 役員の退任および補充選任の件

(2) 理事会

① 第 23 回理事会 (2017 年 5 月 22 日)

二宮会長が議長となり、5名の理事出席を得て開催され、以下議案について、いずれも満場一致で可決・承認された。

第 1 号議案：2016 年度事業報告案の承認を求める件

第 2 号議案：2016 年度財務諸表案の承認を求める件

第 3 号議案：2017 年度定時総会招集の件

② 第 24 回理事会 (2017 年 6 月 20 日)

二宮会長が議長となり、7名の理事出席を得て開催され、以下議案について、いずれも満場一致で可決・承認された。

第 1 号議案：専務理事・常務理事選任の件

③ 第 25 回理事会 (2018 年 3 月 6 日)

二宮会長が議長となり、6名の理事出席を得て開催され、以下議案について、いずれも満場一致で可決・承認された。

第 1 号議案：2018 年度事業計画案の承認を求める件

第 2 号議案：2018 年度収支予算案の承認を求める件

第 3 号議案：新規入会申込の件

(3) その他

内閣府公益認定等委員会主催 平成 29 年度「ラウンドテーブル」への二宮会長の出席 (2018 年 2 月 20 日)

以 上